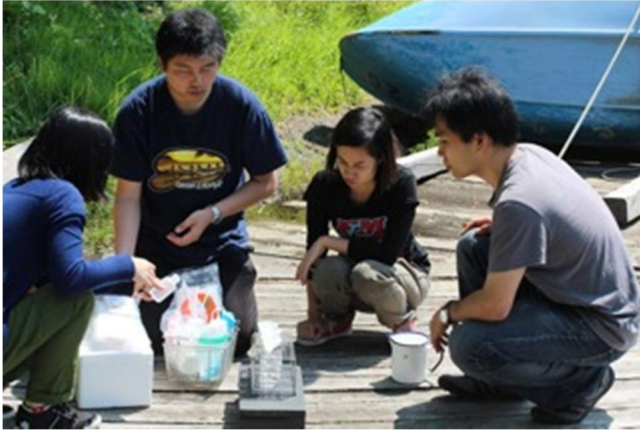


塘研究室、高貝研究室合同第1回現地調査報告



2012年7月20日(金)、裏磐梯五色沼湖沼群の一つ、毘沙門沼にて、高貝研究室と塘研究室の合同調査が実施されました。参加者は高貝研から教員、院生、学生の計5名、塘研から教員、院生、学生の計4名、そして長橋先生を加えた総勢10名でした。

午前中は毘沙門沼の貸しボートが休みだったため、毘沙門沼のボート乗り場付近、流入口付近、流出口付近、東湖盆の東側の4ヶ所で岸から届く範囲で採水・濾過と反射光測定を実施しました。塘研の学生と院生は毘沙門沼流入口での調査後、自然探勝路を柳沼まで進み、五色沼(毘沙門沼、深泥沼、弁天沼、るり沼、柳沼の5池沼)の底生動物の採集調査を実施しました。一方、高貝研の学生・院生の3名と塘は午後からボートに乗って毘沙門沼の東湖盆、西湖盆、井戸沼、清水沼など6ヶ所で採水と濾過、反射光測定を実施しました。

採取した全ての湖水は、裏磐梯ビジターセンター内に設置させていただいた動的光散乱粒子径測定装置にて、高貝先生と学生によって粒子径を測定しました。粒子径の詳しい測定結果や底生動物の調査結果については、改めて報告させていただきます。(塘 報告)